

# 2023年度(令和5年度)事業報告

事業期間：2022年8月1日～2023年7月31日

## 1. 登 録

### (1) 本連盟への登録

- ① スキー部の登録校 98 校
- ② 部員登録人数 約 1,587 名
- ③ 登録時期 2022 年 8 月から

### (2) 全日本スキー連盟登録

- ① S A J 会員登録 (登録時期 8 月から) 1,325 名
- ② F I S 及び S A J 競技者登録 (各種目) のべ 1,939 名

## 2. 競技会

### <総合競技会>

#### 第 96 回 全日本学生スキー選手権大会

- ① 主 催 (公社) 全日本学生スキー連盟
- ② 共 催 (一社) 大学スポーツ協会
- ③ 公 認 (公財) 全日本スキー連盟
- ④ 主 管 第 96 回全日本学生スキー選手権大会鹿角市実行委員会  
秋田県スキー連盟、鹿角市スキー連盟
- ⑤ 競技日程 2023 年 2 月 3 日 (金)・2 月 23 日 (木)～26 日 (日)
- ⑥ 会 場 アルペン競技 : 花輪スキー場アルペンコース  
(スーパー大回転 : 猪苗代スキー場)  
クロスカントリー : 花輪スキー場クロスカントリーコース  
ジャンプ競技 : 花輪スキー場花輪ジャンツェ  
コンバインド競技 : 花輪スキー場花輪ジャンツェ・クロスカントリーコース
- ⑦ 参加延人数 男子・女子合計約 1,530 名 (団体戦を除く) (実参加人数) 約 890 名  
※学校対抗戦として連盟最大の競技会

### <冬季ワールドユニバーシティゲームズ> ※今回から名称変更

#### FISU 冬季ワールドユニバーシティゲームズ (2023/アメリカ・レークプラシッド)

- ① 主 催 国際大学スポーツ連盟 (FISU)
- ② 開催場所 アメリカ・レークプラシッド
- ③ 競技日程 2023 年 1 月 12 日 (木)～1 月 22 日 (日)
- ④ 参加競技 

アルペン	男子 3 名	女子 3 名	計 6 名
クロスカントリー	男子 4 名	女子 4 名	計 8 名
ジャンプ	男子 4 名	女子 4 名	計 8 名
コンバインド	男子 4 名	女子 4 名	計 8 名
スノーボード	男子 9 名	女子 5 名	計 14 名
フリースタイル	男子 2 名	女子 2 名	計 4 名

 合計 48 名の選手が参加  
金メダル 13 個、銀メダル 8 個、銅メダル 6 個 合計 27 個のメダルを獲得した。  
冬季ユニバーシティ大会では過去最多のメダル獲得数だった。

### <クロスカントリー競技>

#### 第 37 回クロスカントリーチャンピオン大会

- ① 主 催 (公社) 全日本学生スキー連盟

- ② 主 管 名寄地方スキー連盟
- ③ 競技日程 2022年12月28日(水)～12月29日(木)
- ④ 会 場 健康の森クロスカントリーコース
- ⑤ 参加延人数 男子・女子合計297名

\*シーズンインに至るまでのトレーニング成果の確認及びクロスカントリー競技の学生チャンピオン(個人)の決定

#### 第1回全日本学生クロスカントリー選抜大会

- ① 主 催 (公社)全日本学生スキー連盟
- ② 主 管 NPO法人妙高高原スキー連盟
- ③ 競技日程 2023年2月1日(水)～3日(金)
- ④ 会 場 赤倉観光リゾートクロスカントリーコース
- ⑤ 参加延人数 男子・女子 合計391名

#### <アルペン競技>

##### 第38回アルペンチャンピオン大会

- ① 主 催 (公社)全日本学生スキー連盟
- ② 主 管 (公財)長野県スキー連盟
- ③ 競技日程 2023年2月6日(月)～10日(金)
- ④ 会 場 長野県菅平パインビークスキー場
- ⑤ 参加延人数 男子・女子 合計約918名

\*アルペン競技の個人チャンピオンを決定する

##### 第38回アルペンチャンピオン大会(SG)

- ① 主 催 (公社)全日本学生スキー連盟
- ② 主 管 (公社)全日本学生スキー連盟
- ③ 競技日程 2023年2月1日(水)～2日(木)
- ④ 会 場 福島県猪苗代町猪苗代スキー場
- ⑤ 参加延人数 男子・女子 合計202名

\*アルペン競技の個人チャンピオンを決定する

##### 第3回全日本学生アルペン選抜大会

- ① 主 催 (公社)全日本学生スキー連盟
- ② 主 管 (公財)長野県スキー連盟
- ③ 競技日程 2023年3月6日(月)～10日(金)
- ④ 会 場 長野県菅平パインビークスキー場
- ⑤ 参加延人数 男子・女子 合計約591名

#### <ノルデックコンバインド競技>

##### 第12回名寄コンバインドチャンピオン競技会

- ① 主 催 (公社)全日本学生スキー連盟
- ② 主 管 名寄地方スキー連盟
- ③ 競技日程 2022年12月20日(火)
- ④ 会 場 北海道名寄ピヤシリジャンプ場・名寄健康の森クロスカントリーコース
- ⑤ 参加人数 男子46名・女子9名

\*ノルデックコンバインド競技の個人チャンピオンを決定する

#### <その他の競技会>

##### (1)第37回全日本学生スキー技術選手権大会

- ① 主 催 (公社) 全日本学生スキー連盟
- ② 競技日程 2023年1月28日(土)～29日(日)
- ③ 会 場 長野県・白馬岩岳スノーフィールド
- ④ 参加人数 男子・女子 合計48名

## (2) 全日本学生スキー夏季競技会

〈コロナの影響により中止〉

## (3) 第93回 全関西学生スキー選手権大会

- ① 主 催 (公社) 全日本学生スキー連盟 全関西学生スキー連盟
- ② 主 管 NPO 法人妙高高原スキー連盟
- ③ 後 援 (公財) 新潟県スキー連盟、妙高市、朝日新聞社
- ④ 競技日程 2023年3月2日(木)～7日(火)
- ⑤ 会 場 新潟県妙高市
- ⑥ 参加延人数 男子・女子 合計約800名

## (4) 第60回全日本スキー技術選手権大会

- ① 主 催 (公財) 全日本スキー連盟
- ② 競技日程 2023年3月8日(水)～12日(日)
- ③ 会 場 白馬八方尾根スキー場
- ④ 参加人数 女子10名(うち1名補欠)、男子16名(内1名補欠)

## 3. 合 宿

### <国内合宿>

#### (1) ジャンプ強化合宿

<第1回> 北海道札幌市強化合宿

- ① 期 間 2022年8月3日(水)～7日(日)
- ② 場 所 北海道札幌市
- ③ 参加人数 強化指定選手 男子6名 女子5名 合計11名

<第2回> 白馬全日本選手権強化合宿

- ① 期 間 2022年10月18日(火)～23日(日)
- ② 場 所 長野県白馬村
- ③ 参加人数 強化指定選手 男子6名 女子5名 合計11名

<第3回> 北海道名寄市強化合宿

- ① 期 間 2022年12月12日(月)～18日(日)
- ② 場 所 北海道名寄市
- ③ 参加人数 強化指定選手 男子6名 女子5名 合計11名

#### (2) コンバインド強化合宿

<第1回> コンバインド国内合宿 塩沢合宿・塩沢ジャンプ大会

- ① 期 間 2022年8月25日(木)～8月28日(日)
- ② 場 所 新潟県・塩沢町
- ③ 参加人数 強化指定選手 男子8名 女子4名 合計12名

<第2回> コンバインド国内合宿 白馬合宿 サマーノルディックフェスティバル

- ① 期 間 2022年9月29日(木)～10月2日(日)

- ② 場 所 長野県・白馬村
- ③ 参加人数 強化指定選手 男子12名 女子7名 合計19名
- <第3回> コンバインド国内合宿 鹿角合宿・鹿角サマーコンバインド大会
- ① 期 間 2022年10月6日(木)～10月9日(日)
- ② 場 所 秋田県・鹿角市
- ③ 参加人数 強化指定選手 男子12名 女子5名 合計17名
- <第4回> コンバインド国内合宿 名寄合宿・コンバインドチャンピオン大会
- ① 期 間 2022年12月16日(金)～12月21日(水)
- ② 場 所 北海道・名寄市
- ③ 参加人数 強化指定選手 男子4名 女子1名 合計5名

### (3) アルペン強化合宿

- <第1回> アルペン・ヨーロッパ合宿
- 〈参加者がいなかったため中止〉

### (4) クロスカントリー強化合宿

- <第1回> 強化合宿 鹿角合宿
- ① 期 間 2022年8月7日(日)～12日(金)
- ② 場 所 秋田県鹿角市
- ③ 参加人数 14名
- <第2回> 強化合宿 野沢温泉合宿
- ① 期 間 2022年9月12日(月)～23日(金)
- ② 場 所 長野県野沢温泉村
- ③ 参加人数 14名
- <第3回> 強化合宿 旭岳合宿
- ① 期 間 2022年11月10日(木)～20日(日)
- ② 場 所 北海道上川郡旭岳
- ③ 参加人数 14名

### (5) 教育本部強化合宿

- ① 期 間 2023年1月27日(金)
- ② 場 所 長野県・白馬岩岳スノーフィールド
- ③ 参加人数 23名
- <全日本スキー技術選手権大会事前合宿>
- ① 期 間 2023年3月6日(月)～7日(火)
- ② 場 所 白馬八方尾根スキー場
- ③ 参加人数 26名

### (6) 技術向上合宿

#### A. ジャンプ・コンバインド合宿

- <第1回ジャンプ・コンバインド技術向上飯山合宿>
- ① 期 間 2022年11月4日(金)～11月6日(日)
- ② 場 所 長野県・飯山市、新潟県・妙高市
- ③ 参加人数 男子22名・女子5名 合計27名
- <第2回ジャンプ・コンバインド技術向上飯山合宿>

- ① 期間 2023年6月2日(金)～4日(日)
  - ② 場所 長野県・飯山市
  - ③ 参加人数 男子1名・女子1名 合計2名
- <第3回ジャンプ・コンバインド技術向上妙高合宿>  
<参加者がいなかったため中止>

#### B. クロスカントリー合宿

<クロスカントリーセミナー/夏季走力記録会> (兼2・3部対策事業)

- ① 期 間 2023年7月9日(日)
  - ② 場 所 早稲田大学所沢キャンパス
  - ③ 参加人数 28名
- クロスカントリースキー競技者として必要なトレーニングの知識についてセミナー形式で学習、陸上トラックで記録会を実施し走力の確認をすることで今後のトレーニングの指標とする。

#### 4. 指導者の育成

##### (1) スキー指導者研修会及び公認スキー検定員クリニック

- ① 期 間 2023年3月18日(土)～19日(日)
- ② 場 所 白馬岩岳スノーフィールド
- ③ 参加人数 研修会8名、クリニック7名

##### (2) プライズテスト及びスキー級別テスト

<状況を鑑み中止とした>

#### 5. 出版物の刊行

##### (1) 2021 学生スキー年鑑 (No. 24)

- ① 発行時期 NO.24-2022年9月
- ② 発行部数 CD/280枚

#### 6. 会議

##### (1) 定例社員総会

2023年度(令和5年度)定例社員総会  
日 時 2022年10月23日(日)  
場 所 中野サンプラザ  
議 題 令和4年度事業報告及び収支決算の承認

##### (2) 定例理事会

- ① 第1回理事会  
日 時 2022年9月8日(木) ZOOM会議
- ② 第2回理事会  
日 時 2022年9月18日(日) 書面表決
- ③ 第3回理事会  
日 時 2022年10月8日(土) 書面表決
- ④ 第4回理事会  
日 時 2022年10月18日(火) ZOOM会議

- ⑤ 第5回理事会  
日 時 2022年11月10日(木) 書面表決
- ⑥ 第6回理事会  
日 時 2023年11月26日(土) 書面表決
- ⑦ 第7回理事会  
日 時 2022年11月30日(水) ZOOM会議
- ⑧ 第8回理事会  
日 時 2023年1月2日(月) 書面表決
- ⑨ 第9回理事会  
日 時 2023年2月11日(土) 書面表決
- ⑩ 第10回理事会  
日 時 2023年4月8日(土) ZOOM会議
- ⑪ 第11回理事会  
日 時 2023年6月13日(火) ZOOM会議
- ⑫ 第12回理事会  
日 時 2023年7月10日(月) ZOOM会議

### (3) 学生委員会

- ① 日 時 2022年11月12日(土)  
場 所 中野サンプラザ

\*加盟大学学生を招集し、全日本学生スキー選手権大会の開催要領を中心とした連盟の行事等の説明

## 7. 特別事業

### (1) 懇親忘年会

〈コロナの影響により中止〉

## 8. 総括

### (1) 競技本部

前回の第30回ユニバーシアード冬季競技大会(2021/ルツェルン)は開催1週間前に新型コロナウイルス感染拡大により中止となり、代表選手にとっては非常に悔しい思いとなったが、2023年1月12日(木)~1月22日(日)に開催されたFISU冬季ワールドユニバーシティゲームズ(2023/アメリカ・レークプラシッド ※今回から名称変更)では、スキー競技選手が48名出場し、金メダル13個、銀メダル8個、銅メダル6個の合計27個のメダル獲得は、冬季ユニバーシティ大会では過去最多のメダル獲得数となり、前回大会中止の悔しさを跳ね返し素晴らしい成績を残した。

第96回全日本学生スキー選手権大会は秋田県鹿角市で2023年2月23日~26日(アルペンSGは2月3日猪苗代)で開催された。今回はコロナ感染対策を行った上での一般観客を入れて開催され、男子1部は中央大学が29年ぶりに総合優勝、女子1部は早稲田大学が総合優勝に輝いた。

### (2) 教育本部

第60回全日本スキー技術選手権大会では男子2名がスーパーファイナルまで進出し注目を集めるなど、これまでの活動の成果が出つつあるシーズンとなった。  
教育部事業に携わっていただいた関係各位のご協力に感謝申し上げ、総括とさせていただきます

ます。

(3) 総務本部

本年度も新型コロナウイルス感染症の影響を受けた一年となった。

11月初旬にはSAJより大会前のPCR検査は必ずしも必要ないとの通知を受けたが、インカレ開催地の鹿角市からはインカレ参加者にはPCR検査を行って欲しいとの要望がなされ、事務局と学生委員には大きな負担となった。

次年度はコロナの影響が減少することを期待するも、為替・物価高騰・景気減速といった悪条件が懸念され、財政状況の安定に注意を払いたい。

以上